



10月18日(日)

秋の味覚ずらり 〜森と清流の里ふれあい祭り〜

地 元生産者が自慢の野菜や加工品などを販売する交流イベント「森と清流の里ふれあい祭」が10月18日(日)、大山ガーデンプレイスで開催されました。

会場では、野菜、果物、おこわや味噌などの販売をはじめ、炭火焼肉やクレープなどの飲食ブースが並び、たくさんの方々がにぎわいました。ほかにも、もちつきやしめ縄作りが無料で体験できるコーナーや、景品抽選会などが行われました。

また、当日会場内に設置されたチャリティ募金箱に、総額5万7702円の募金が集まりました。この募金は伯耆町社会福祉協議会へ全額寄付され、年末に実施する独居高齢者おせち配付事業費の一部として活用されます。



▲体験コーナーで初めてのしめ縄作り挑戦



▲新鮮な野菜や果物がいっぱい

10月24日(土)

ウォーキングで楽しく健康に 〜さわやか歩キングの集い〜

気

持ちのよい秋晴れのなか、「さわやか歩キングの集い」が10月24日(土)に開催されました。このイベントは、ウォーキングの普及・啓発を目的として、健康対策が毎年10月に開催されています。今年は町内外から45名が参加し、役場本庁舎から溝口体育館まで8.5kmのコースを、約2時間かけて歩きました。

今年のコースはアップダウンがあったため、参加者は「しっかりと歩いた気がする」、「こんなに歩いたのは久しぶり」と話していました。



▲ほうき体操でウォーミングアップ



▲会話と景色を楽しみながらウォーキングする参加者

たのは久しぶり」と話していました。厚生労働省では生活習慣病予防のために「1に運動、2に食事、3に禁煙、最後にクスリ」というスローガンを提唱しています。ウォーキングなどの運動を継続的に行うことは、生活習慣病(特に糖尿病・心臓病・脳卒中など)の予防・改善に大きな効果が期待できます。無理せず楽しく続けるために、このような行事を活用し、心もからだも健康に過ごしましょう。

10月25日(日)

熱い思いを詰め込んだ 「夢のおもちや」完成 〜大山Gビール新工場お披露目会〜

大 山Gビールでおなじみの地ビール製造販売・久米桜麦酒株式会社、新しく増設した工場の完成を記念して、平井治県知事ら100名を超える関係者を招いて、10月25日(日)に新工場お披露目パーティーを開催しました。

新工場は地ビールレストラン・ガンバリウスに併設され、ドイツ製の醸造釜や4klの貯蔵タンク3基のほか、温度管理などがボタン操作でできる最新鋭システムが導入されました。これにより、生産能力がこれまでの約1.5倍(年間160klから230kl)に上がりました。さらに、手作業で行っていた重たい原料の運搬や温度管理を機械操作に切り替えたことで、スタッフの負担が減ったうえ、安定した温度管理が可能になり、素材の旨味を活かしたより質の高いビールが作れるようになりました。

この工場は、醸造責任者・岩田秀樹さんが、ドイツ設備メーカーの知識と



▲パーティーで平井県知事らと乾杯する
田村源太郎代表取締役社長(写真右)



▲新しく導入された
貯蔵タンクを見学

経験に惚れ込み、「彼らと一緒に仕事がしたい」という思いからスタートしました。岩田さんは建設から立会い、排水や梁など細部までこだわりを詰め込んだ新工場の完成に「夢のおもちやができました」と話していました。

10月31日(土)

美しい競走馬に興奮 〜大山ヒルズ見学会〜

伯

耆町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で10月31日(土)、施設見学会が開催されました。

大山ヒルズは、平成15年3月にオープンした、ノースヒルズグループの競走馬トレーニング施設です。JRAでの出走を目的に、2歳馬の育成調教や休養馬の調教を行っています。一般公開はされていないため、1年に1度開催される見学会に

は、毎年定員を超えるたくさんの応募が寄せられます。今年は、その中から抽選で選ばれた30組の方が参加しました。

参加者らは、普段見ることができない競走馬を間近に見て、「すごい筋肉」「毛並がきれい」「目がかわいい」など口にしなが、記念撮影などをして楽しい時間を過ごしました。



▲馬見せ場で競走馬を間近に見学



▲大山と日本海が一望できる美しいトレーニングコース